

～全国学力・学習状況調査の結果について～

4月に行われた全国学力・学習状況調査について本校の結果をお知らせします。

(1) 本校の学力・学習状況調査結果の概要

<国語>

- ・教科全体の数値が全国平均をやや下回りました。
- ・学習指導要領の領域や評価の観点、問題形式別に結果を見ても、全ての領域や観点、問題形式で正答率が全国平均を下回っています。
- ・とくに課題が見られたのは「知識及び技能」「言葉の特徴や使い方に関する事項」です。問題番号2三(アイ)、3一の正答率が低くなっています。この設問では「漢字を文の中で正しく使うこと」「文の中における主語と述語の関係をとらえること」が求められています。

<算数>

- ・教科全体の数値が全国平均をやや下回りました。
- ・問題番号ごとにみると4(2)、「速さと時間」、5(1)「円グラフの特徴」については全国平均値を上回っており、力をつけています。
- ・その他の問題については全国平均を下回っており、課題があることがわかりました。問題の中には低学年・中学年の学習内容も含まれていることから、基礎的・基本的な内容を学習する段階からのつまずきを残している児童がいることがわかりました。

<質問紙調査>

- ・家庭での生活習慣・学習習慣に関わる項目が高い数値となりました。
「毎日朝食を食べている(94.9%)」「毎日、同じくらいの時刻に起きている(88.6%)」
- ・自己有用感に関わる項目が高い数値となりました。
「自分にはよいところがある(89%)」「先生は、自分のよいところを認めてくれている(90.3%)」
- ・友達との関わりに関する項目が高い数値となりました。
「学校に行くのは楽しい(85.1%)」「友達関係に満足している(91.6%)」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う(98.1%)」
- ・「人が困っているときは、進んで助けていますか」という項目が全国と比較して低い数値となりました。
- ・学習への関心・意欲については国語・算数ともに全国平均を下回っています。

(2) 調査結果をもとに

【学習について】

基礎的・基本的な内容の定着を図り、児童が学ぶ楽しさを感じられるような授業を目指します。調査結果において課題がみられた国語の漢字や語彙の学習、算数の「数と計算」に関する学習については学習内容の定着を図るため、学習支援を重ねていきます。

【生活習慣について】

良好な結果となっています。今後もご家庭と学校が協力し合いながら、よい習慣を持続させていきたいと考えます。

質問紙調査では、子供たちが自分や友達のよさを認め合いながら、自信をもって友達との関わりや学校生活を楽しんでいるという結果が見られました。今後も、より一層、他者との関わりの中かで知恵や力を発揮する場面を大切に、ご家庭と学校生活の両面から児童の豊かな心を育てていきたいと考えます。今年度の調査結果を本校の教職員全体で共有すると共に、家庭・地域・学校の力を合わせて一人一人の児童を大切に育てていきたいと思ひます。今後とも、本校の教育活動に、ご理解ご協力をお願いします。